

授 業 科 目 名 ( 英 語 名 称 )	必修の区分	単位数	開 講 年 次	
環境文献購読 (The Green Reader)	選択	2	3-4	
講 師 名	所 属	オフィスアワー・場所	連 絡 先	
岡田真美子	環境人間学部	水曜 11.00-12.30 E303	okada-hisyo@shse.u-hyogo.ac.jp	
講義目的	古典的および現代の環境関連名著を取り上げて購読することによって、批判的に論理的に読む力をつけ、環境思想研究への入門とする。			
講義内容 授業計画	回	月日	題 目	担 当
	1	10/04	プロローグ：演習のねらいと進め方、担当相談	
	2	10/18	『沈黙の春』 Rachel Carson(1965), <i>Silent Spring</i> , Penguin	橋本絢奈 HB05E129
	3	10/25	『野生のうたが聞こえる』 Aldo Leopold(1949), <i>A Sand Country Almanac</i>	大槻伸也 HB05E027
	4	11/01	『スモールイズビューティフル』 E. F. Schumacher(1974), <i>Small is Beautiful</i> (『スモール イズ ビューティフル再論』 E. F. Schumacher(1997), <i>This I Believe</i> )	谷上奈緒 HB05E104 内山 文香 HB05E022
	5	11/08	『地球生命圏—ガイアの科学』 Jim E. Lovelock (1979), <i>Gaia—A new look at life on Earth</i> (『ガイアの復讐』 James Lovelock(2006), <i>The Revenge of Gaia</i> )	藤本真希 HB05E148 渡辺早津紀 HB05E207
	6	11/15	金森 修(2000)「エコウォーズ」『サイエンス・ウォーズ』	佐々木明日香 HB05E076 西川由美 HB05E126
	7	11/22	『地球文明の未来学』 W. Sachs(1999), <i>Planet Dialectics</i>	山田愛華 HB05E192 片山祐子 HB05E048
	8	11/29	『プラン B 2.0』 Lester R. Brown(2006), <i>Plan B 2.0</i>	上原可子 HB05E019
	9	12/06	桑子敏雄(1999)『環境の哲学』	深澤勇人 HB05E142 尾崎陽介 HB05E037
	10	12/13	森下一男編(2006)「ため池のある地域の再生」『地域をはぐくむネットワーク』	藤井 木村茜 HB05E062
	11	12/20	岡田真美子編(2006年)「神と水ネットワーク」『地域をはぐくむネットワーク』	高濱詩穂 HB05E095 橋本絢奈 HB05E129
	12	01/10	畠山重篤(1994)『森は海の恋人』	溝畑雅也 HB05E174 堀田
	13	01/17	レイチェル・カーソン『センス オブ ワンダー』 Rachel Carson, <i>Sense of Wonder</i>	濱田祥平 HB05E134 高木真由美 HB05E092
14	01/24	エピローグ：ワークショップ	1/31 予備日	
テキスト 参考文献	教科書は使わない。 文献は第1回目講義で担当を決めて配布する			
成績評価 の基準	担当回の発表、終了後の報告レポート、および講義への参加状況によって評価する。			
履修上の 注意 履修要件	毎時間コミュニケーションカードを配布回収し、担当者の感想・応答を書いて次回返却する。このカードとレジユメはきちんとファイルしてゆくこと。(◎最終回にファイリングしたものを持参してもらい、これを用いてワークショップをする)			
備 考	質問、届けその他は原則としてメールで提出すること。 件名：2007 環境購読文献 (学籍番号 名前)			

担当は 10/4 現在

□発表資料作成

課題の図書および関連文献を読んで以下の内容をまとめる。

複数で担当するときは、分担が明らかになるように署名入りで書く。

著編者名 :

書 名 :

発行所 :

発行年 :

1. 著者紹介（専門、略歴、他の人からの評価）
2. 本が書かれたきっかけ
3. 全体の内容紹介（全体のテーマと章ごとの内容、ねらい）
4. 強く印象に残ったところ、他のメンバーに紹介したいと思ったところを抜書きしてファイルに打ち込む。章節項名とページ数明記のこと。

□担当日に発表

その際、4で選んだ箇所を合わせて受講生への輪読用配布資料を作成し、

講義前々日の正午までに E301 高石理香子さんにファイルを届けてコピーを依頼する。

□担当終了後、コミュニケーションカード・レポート提出

終了時コミュニケーションカードを回収し、各自それに感想、応答を書き、月曜正午までに E301 高石理香子さんに届ける。

発表終了後すみやかに、発表時に出た質問・意見なども反映させて、上記の発表資料をさらに充実させたものを作成して E301 高石理香子さんにファイルを届ける。これをもって成績評価対象となるレポートとする。